



校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です

# ささりんどう

〔学校教育目標〕 ～感動し、共に喜びあえる児童の育成～

鴻巣市立箕田小学校 学校だより  
令和6年7月1日

児童数  
男子 121名  
女子 138名  
合計 259名



## 有意義な夏休みを迎えるために… ～何事もはじめが肝心!!～

校長 清水 良江

朝、登校して学校の門をくぐるとあいさつ運動に参加する子、そのまま真っすぐ教室へ向かう子、ランドセルを背負いながらじょうろをもって花などに水やりを始める子など、箕田小の朝の風景はさまざまです。梅雨の合間に差し込む強い日差しにも負けず、子どもたちはみんな元気いっぱいです。一年生はランドセルを教室に置き、支度をすませると、すぐに朝顔の水やりをするために外へ飛び出します。ペットボトル片手に、朝顔の鉢のある体育館前から職員室前の水道まで一直線。全速力で走る姿に元気をもらいます。

さて、今月もあと半月ほどで夏休みを迎えます。学校のように時間に縛られず、家でのおんびりできる夏休みは子どもたちにとっては楽園です。しかし、親にとっては、大きな問題が待っています。お昼の用意という仕事も増えますが、「まだ寝ている」「なかなか勉強をしない」「テレビや動画ばかり見ている」など、子どもの行動一つ一つに目が向いてしまい、イライラしてしまうことも…。そこで、ぜひ取り組んでほしいのは、学校と同じように夏休み期間中も家での一日の生活スケジュールを立てるということです。これは夏休みのはじめに行くことが肝心です。毎日行う課題と短期間で集中して行う課題を整理したり、自由応募でチャレンジしたい課題を選んだり等、何をいつからどれくらいの期間で行うかを計画したりするのは、子どもにとってはとてもわくわくするものです。一人だとなかなか勉強にも集中できないと思いますので、メインの学習時間は30分～45分くらいで区切ったり、計算や漢字ドリルの時間などは15分で切ったりなど、一日の生活スケジュールを子どもができてそうなスタイルにアレンジするとよいと思います。もちろん、家のお手伝いの時間も必ず作ってください。学習時間が長かったり、時間をあまり細かく刻んでしまったりすると実行しづらくなりますので、ゆったりとした計画を親子で相談しながら立てるとよいかもしれません。そして、時には自由な日をつくり、子どもが好きなことに没頭できるような〇〇Dayなどを設定しても面白いかもしれません。そうは言っても計画通りにはなかなかいかないものです。多少は、大目に見てあげてください。そして少しでもできていたら褒めてあげてほしいと思います。様々な経験ができる夏休み。ぜひ有意義な時間をお過ごしください。

### 叱り方にもひと工夫

～条件付きの子育ては要注意です～

子どもを叱る際は、子ども自身の性格や能力、外見や短所を責めるのではなく、子どもが何をしたかったのか、何を言いたかったのかを理解し、子どもの気持ちを十分に受け入れた上で、何がいけなかったのか、好ましくない行動の理由を説明し、親の気持ちを正直に伝えることが大切です。

「～したかったんだね。どうすればできるか一緒に考えてみようか。」

「～すると・・・だから、～しようね。」「～すると、お母さんは悲しいよ。」

自分がとった行動が周りにどんな影響を与えるのかを具体的に説明するとよいです。

自分の思いを受け入れてもらったと感じると、心を閉ざすことなく、親と気持ちや問題を共有しやすくなります。逆に、性格や行動、能力など自分自身を否定されると、自分にはどうせできないという無力感を覚えるようになり、物事に対する意欲をなくしてしまうことに繋がります。また、つい「～しなかったら、・・・しないよ。」と言ってしまうがちですが、そこはぐっと抑えてください。「条件付きの子育て」は子どもにとって負の影響しかもたらしません。

子どもは、どの子も無限の可能性を秘めています。その子自身が今後伸びるかどうかは、その子のもつ意欲が大きく左右します。よりよい親子関係を築き、自己肯定感がもてるようにしていきましょう。